〔活動交付金A〕

様式第２２号（第５条関係）

令和　8　年　3　月　31　日

笠岡市長　殿

所　在　地	笠岡市高島5039-1
協 議 会 名	高島まちづくり協議会
協議会長名	会長　山本健三

令和　7　年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）実績報告書

令和　7　年　5　月　20　日付け笠岡市指令まち第　82　号で交付決定を受けた交付金について，次のとおり活動が完了したので，笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第５条の規定により関係書類を添えて報告します。

記

１　交付金決算額　　1,499,000　円

〔内訳〕　（単位：円）

交付決定額　①	交付金決算額	
	当該年度支出額　②	次年度繰越額　③
1,499,000	1,499,000	0

【添付書類】

（１）笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書（様式第２４号）

（２）笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書
（様式第２５号又は様式第２５号の１）

（３）支払書類（レシート等）の原本（活動ごとに取りまとめたもの）

（４）事業の実施状況がわかる写真及び成果品

（５）その他参考となる書類

〔活動交付金〕

様式第２４号（第５条関係）

令和　7　年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名　高島まちづくり協議会

活動Ｎｏ	1
活 動 名	回漕店運営事業
前年からの繰越金	○あり　◉なし

1　目的，活動実施により期待される効果

【目的】	島民の生活基盤である定期船航路を維持するため、定期船発着の安全管理、切符の販売や荷物の集荷、乗船客の安全管理を行う回漕店業務を実施する。
【効果】	利用者が安心、安全に利用出来るよう心掛けること。高齢化が進み担い手がない中、若い世代が業務に携わり島で収入を得る事が出来、地域の活性化にも繋がる。

2　実施期間

令和　7　年　4　月　1　日　～　令和　8　年　3　月　31　日

（計画期間　　年中　　年目）

3　実施場所

高島港桟橋・回漕店

4　活動に関わった人数・団体

○総人数：　15549　人（ア＋イ）

（内訳）企画運営に関わった人数：　10　人（ア）

その他関係人数（当日参加者等）：　15539　人（イ）

○団　体：　（団体名）　高島自治会　，　（団体名）

（団体名）　，　（団体名）

5　実施内容

定期船が安全に発着出来るよう手助けをし、乗降客の安全確保、切符販売、荷物やメール便の集荷、回漕店回りのの清掃、高齢者宅への荷物の配達。

6　決算額

1,476,000 円（うち交付金分　876,000 円）

7　活動実施による成果及び課題

【成果】	海上の荒れているときなど乗降時に安心して利用できています
【課題】	宅急便を含め全ての荷物は回漕店止まりです。

〔活動交付金〕

様式第２５号（第５条関係）

令和　7　年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名　高島まちづくり協議会

活動Ｎｏ	1
活 動 名	回漕店運営事業

【収入の部】　（単位：円）

費　　目	予算額	決算額	差引	摘　　要
市交付金	① 876,000	876,000	0	当該年度分
その他収入	600,000	600,000	0	
自主財源	600,000	600,000	0	三洋汽船より
			0	
			0	
計	1,476,000	1,476,000	0	

【支出の部】　（単位：円）

費　　目	予算額	決算額	差引	摘　　要
報償費		0	0	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費		0	0	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費		0	0	〃
賃金	1,476,000	1,476,000	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	1,476,000	1,476,000	0	決算額のうち市交付金分 ② 876,000

市交付金の余剰金　①－②　0　円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③　0　円　　返還額 ④　0　円

※　収入及び支出の区分欄は，適宜変更して使用すること。

〔事務様式2〕

出　　納　　簿

交付金区分　　活動交付金

活動名　　回漕店運営事業

費目　　賃金

No.　　1

No.	年	月	日	支払先	摘　　要	支出額	支出累計
1	7	6	30	スタッフ	回漕店業務	219,000	219,000
2		7	31	スタッフ	〃	73,000	292,000
3		8	29	スタッフ	〃	73,000	365,000
4		9	30	スタッフ	〃	73,000	438,000
5		10	31	スタッフ	〃	73,000	511,000
6		11	28	スタッフ	〃	73,000	584,000
7		12	30	スタッフ	〃	73,000	657,000
8	8	1	30	スタッフ	〃	73,000	730,000
9		2	27	スタッフ	〃	73,000	803,000
10		3	31	スタッフ	〃	73,000	876,000
11		3	31	スタッフ（三洋汽船より）	〃	600,000	1,476,000
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
					No.1　小　計	1,476,000	

〔活動交付金〕

自己評価シート

（令和　7　年度）　　No. 1

協議会名	高島まちづくり協議会
活動名	回漕店運営事業

活動目的	島民の生活基盤である定期船航路を維持するため、定期船発着の安全管理、切符の販売や荷物の集荷、乗船客の安全管理を行う回漕店業務を実施する。
実施内容	定期船が安全に発着出来るよう手助けをし、乗降客の安全確保、切符販売、荷物やメール便の集荷、回漕店回りのの清掃、高齢者宅への荷物の配達。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動の目的・効果を地域のみんなで共有することができたか。	3
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 （活動の経費・理由・内容など）	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 （広報手段・日程調整など）	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 （男女共同参画の推進，地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど）	2
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	2
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	3
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	3
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	2
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について

4：よくできた　3：まあまあできた　2：あまりできなかった　1：全くできなかった

活動の成果	現状と課題
海上の荒れているときなど乗降時に安心して利用できています	宅急便を含め全ての荷物は回漕店止まりです。

今後の活動の方向性・改善策

宅急便は回漕店止まりなので送り先に届くよう話し合いを進めていきます

様式第２４号（第５条関係）

〔活動交付金〕

令和　7　年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名　高島まちづくり協議会

活動Ｎｏ	2
活 動 名	婆一ちゃるショップ運営事業
前年からの繰越金	○あり　◉なし

1　目的，活動実施により期待される効果

【目的】	島には商店が無いため高齢化が進む中、高齢者や障害者が安心して暮らせる島づくりを目指し、笠岡商店街の協力を得て商店を開く。また、灯油等の燃料は危険物なので定期船に乗せることが出来無いため、地元の方の協力で高島～外浦間の燃料運搬の協力を得る。
【効果】	食料品、生活用品など必要な商品が島で購入出来ることで、安心して島での生活を送ることが出来る。買い物に来られた方の会話も弾むひと時でもあります。

2　実施期間

令和　7　年　4　月　1　日　～　令和　8　年　3　月　31　日

（計画期間　　年中　　年目）

3　実施場所

婆一ちゃるショップ：高島回漕店内で販売
燃料（灯油等）：自治会倉庫→高島港→外浦港（販売店が給油）→高島港→自治会倉庫（鍵付き）

4　活動に関わった人数・団体

○総人数：　180　人（ア＋イ）

（内訳）企画運営に関わった人数：　10　人（ア）

その他関係人数（当日参加者等）：　170　人（イ）

○団　体：　（団体名）　自治会　，　（団体名）　民生児童委員

（団体名）　　，　（団体名）

5　実施内容

月2回商店を開きます。利用者が毎回必要な商品を注文用紙に記入し、集計したものを笠岡商店街に発注する。届いた商品は注文者が取りに来られます。体調の悪い方はグリスロで届けています。

6　決算額

263,000 円（うち交付金分　263,000 円）

7　活動実施による成果及び課題

【成果】	安否確認にも繋がり、他の方の注文商品を確認しながら次回の注文の参考にされています。買い物に来られた方やスタッフの方とのお喋りの時間も楽しいひと時です。日用品は勿論ですが灯油等の燃料は危険物で定期便に乗せることが出来ないのでこの事業はとても喜ばれています。
【課題】	利用されていない方への呼びかけを続けて行きます。

様式第２５号（第５条関係）

〔活動交付金〕

令和　7　年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名　高島まちづくり協議会

活動Ｎｏ	2
活 動 名	婆ーちゃるショップ運営事業

【収入の部】　（単位：円）

費　　目	予算額	決算額	差引	摘　　要
市交付金	① 263,000	263,000	0	当該年度分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	263,000	263,000	0	

【支出の部】　（単位：円）

費　　目	予算額	決算額	差引	摘　　要
報償費	77,000	77,000	0	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費		0	0	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費		0	0	〃
運賃	96,000	96,000	0	〃
運搬費	90,000	90,000	0	〃
			0	
			0	
計	263,000	263,000	0	決算額のうち市交付金分 ② 263,000

市交付金の余剰金　①－②　0　円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③　0　円　　返還額 ④　0　円

※　収入及び支出の区分欄は，適宜変更して使用すること。

〔事務様式2〕

出　　納　　簿

交付金区分　　活動交付金

活動名　　婆ーちゃるショップ運営事業

費目　　報償費

No.　　1

No.	年	月	日	支払先	摘　　要	支出額	支出累計
1	8	3	31	スタッフ	婆ーちゃるショップ手伝い（２４回）	24,000	24,000
2				スタッフ	婆ーちゃるショップ手伝い（２４回）	24,000	48,000
3				スタッフ	婆ーちゃるショップ手伝い（６回）	6,000	54,000
4				スタッフ	婆ーちゃるショップ手伝い（６回）	6,000	60,000
5				スタッフ	婆ーちゃるショップ手伝い（６回）	6,000	66,000
6				スタッフ	婆ーちゃるショップ手伝い（５回）	5,000	71,000
7				スタッフ	婆ーちゃるショッ手伝い（１回）	1,000	72,000
8				スタッフ	商品支払い等	5,000	77,000
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
					No.１　小　計	77,000	

〔事務様式2〕

出　　納　　簿

交付金区分　　活動交付金

活動名　　婆ーちゃるショップ運営事業

費目　　運賃

No.　　1

No.	年	月	日	支払先	摘　　要	支出額	支出累計
1	7	6	18	三洋汽船	婆ーちゃるショップ運賃（４月～６月）６回分	24,000	24,000
2	7	7	2	三洋汽船	婆ーちゃるショップ運賃	4,000	28,000
3	7	7	16	三洋汽船	婆ーちゃるショップ運賃	4,000	32,000
4	7	8	6	三洋汽船	婆ーちゃるショップ運賃	4,000	36,000
5	7	8	20	三洋汽船	婆ーちゃるショップ運賃	4,000	40,000
6	7	9	3	三洋汽船	婆ーちゃるショップ運賃	4,000	44,000
7	7	9	17	三洋汽船	婆ーちゃるショップ運賃	4,000	48,000
8	7	10	1	三洋汽船	婆ーちゃるショップ運賃	4,000	52,000
9	7	10	15	三洋汽船	婆ーちゃるショップ運賃	4,000	56,000
10	7	11	5	三洋汽船	婆ーちゃるショップ運賃	4,000	60,000
11	7	11	19	三洋汽船	婆ーちゃるショップ運賃	4,000	64,000
12	7	12	3	三洋汽船	婆ーちゃるショップ運賃	4,000	68,000
13	7	12	17	三洋汽船	婆ーちゃるショップ運賃	4,000	72,000
14	8	1	7	三洋汽船	婆ーちゃるショップ運賃	4,000	76,000
15	8	1	21	三洋汽船	婆ーちゃるショップ運賃	4,000	80,000
16	8	2	4	三洋汽船	婆ーちゃるショップ運賃	4,000	84,000
17	8	2	18	三洋汽船	婆ーちゃるショップ運賃	4,000	88,000
18	8	3	4	三洋汽船	婆ーちゃるショップ運賃	4,000	92,000
19	8	3	18	三洋汽船	婆ーちゃるショップ運賃	4,000	96,000
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
					No.１　小　計	96,000	

〔事務様式2〕

出　　納　　簿

交付金区分　　活動交付金

活動名　　婆一ちゃるショップ運営事業

費目　　運搬費

No.　　1

No.	年	月	日	支払先	摘　　要	支出額	支出累計
1	7	11	6	スタッフ	高島～神島外浦間往復（２回）	20,000	20,000
2	8	1	20	スタッフ	高島～神島外浦間往復（３回）	30,000	50,000
3		3	4	スタッフ	高島～神島外浦間往復（２回）	20,000	70,000
4		3	31	スタッフ	高島～神島外浦間往復（2回）	20,000	90,000
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
					No.1　小　計	90,000	

〔活動交付金〕

自己評価シート

（令和　7　年度）　　No. 2

協議会名	高島まちづくり協議会
活動名	婆一ちゃるショップ運営事業

活動目的	島には商店が無いため高齢化が進む中、高齢者や障害者が安心して暮らせる島づくりを目指し、笠岡商店街の協力を得て商店を開く。また、灯油等の燃料は危険物なので定期船に乗せることが出来無いため、地元の方の協力で高島～外浦間の燃料運搬の協力を得る。
実施内容	月2回商店を開きます。利用者が毎回必要な商品を注文用紙に記入し、集計したものを笠岡商店街に発注する。届いた商品は注文者が取りに来られます。体調の悪い方はグリスロで届けています。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動の目的・効果を地域のみんなで共有することができたか。	3
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 （活動の経費・理由・内容など）	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 （広報手段・日程調整など）	2
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 （男女共同参画の推進，地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど）	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	3
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	3
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	3
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	3
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について
4:よくできた　3:まあまあできた　2:あまりできなかった　1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
安否確認にも繋がり、他の方の注文商品を確認しながら次回の注文の参考にされています。買い物に来られた方やスタッフの方とのお喋りの時間も楽しいひと時です。日用品は勿論ですが灯油等の燃料は危険物で定期便に乗せることが出来ないのでこの事業はとても喜ばれています。	利用されていない方への呼びかけを続けて行きます。

今後の活動の方向性・改善策

島での暮らしが困難で島を離れる方も居られますが、安心して利用できる事業のひとつです。島には商店が無いので笠岡市内の商店から月2回商品を仕入れ注文者（高齢者・障碍者）の方が各自取りに来られています。毎月広報でお知らせはしていますが、気兼ねなく利用できるよう声掛けも続けて行きます。灯油等の燃料は定期船に乗せることが出来ないのでとても有難い事業のひとつです。

〔活動交付金〕

様式第２４号（第５条関係）

令和　7　年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名　高島まちづくり協議会

活動Ｎｏ	3
活 動 名	定期便減便対策事業
前年からの繰越金	○あり　◉なし

1　目的，活動実施により期待される効果

【目的】	定期便減便、運行時間ダイヤ改正に伴い島民の利便性が失われるのを防ぐため、減便対策を行い島民、島外の人たちの生活を確保する。
【効果】	高齢者の家族が帰省時にゆったりとした時間が持てる。また、観光客も増え島に活気が出てくる。

2　実施期間

令和　7　年　4　月　1　日　～　令和　8　年　3　月　31　日

（計画期間　　年中　　年目）

3　実施場所

高島港・神外港間

4　活動に関わった人数・団体

○総人数：　539　人（ア＋イ）

（内訳）企画運営に関わった人数：　10　人（ア）

その他関係人数（当日参加者等）：　529　人（イ）

○団　体：　（団体名）　自治会　，　（団体名）

（団体名）　，　（団体名）

5　実施内容

地元で渡船業を営んでいる薮田渡船を利用して、高島港～外浦港間を運行します。利用者が1時間前までに薮田渡船に利用の連絡を入れる。利用者が居ない場合は運休とする。委託料月３０，０００円と利用者は一人２００円を薮田渡船に支払う。

6　決算額

360,000 円（うち交付金分　360,000 円）

7　活動実施による成果及び課題

【成果】	定期便減便、運行時間ダイヤ改正で島民の利便性が失われるのを防ぐ為、減便対策を行い島民、島外の人たちの生活を確保する。
【課題】	高齢者の家族が起床時にゆったりとした時間が持てる。また、観光客、民宿等の利用者も増え島に活気が出てくる。

〔活動交付金〕

様式第２５号（第５条関係）

令和　7　年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名　高島まちづくり協議会

活動Ｎｏ	3
活 動 名	定期便減便対策事業

【収入の部】　（単位：円）

費　　目	予算額	決算額	差引	摘　　要
市交付金	① 360,000	360,000	0	当該年度分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	360,000	360,000	0	

【支出の部】　（単位：円）

費　　目	予算額	決算額	差引	摘　　要
報償費		0	0	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費		0	0	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費		0	0	〃
委託料	360,000	360,000	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	360,000	360,000	0	決算額のうち市交付金分 ② 360,000

市交付金の余剰金　①－②　0　円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③　0　円　　返還額 ④　0　円

※　収入及び支出の区分欄は，適宜変更して使用すること。

〔事務様式2〕

出　　納　　簿

交付金区分　　活動交付金

活動名　　定期便減便対策事業

費目　　委託料

No.　　1

No.	年	月	日	支払先	摘　　要	支出額	支出累計
1	7	6	30	薮田渡船	４月～６月分	90,000	90,000
2		7	31	薮田渡船	７月分（口座より）	30,000	120,000
3		8	29	薮田渡船	８月分（口座より）	30,000	150,000
4		9	30	薮田渡船	9月分（口座より）	30,000	180,000
5		10	31	薮田渡船	10月分（口座より）	30,000	210,000
6		11	28	薮田渡船	11月分（口座より）	30,000	240,000
7		12	30	薮田渡船	12月分（口座より）	30,000	270,000
8	8	1	30	薮田渡船	１月分（口座より）	30,000	300,000
9		2	27	薮田渡船	2月分（口座より）	30,000	330,000
10		3	31	薮田渡船	3月分（口座より）	30,000	360,000
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
					No.1　小　計	360,000	

〔活動交付金〕

自己評価シート

（令和　7　年度）　　No. 3

協議会名	高島まちづくり協議会
活動名	定期便減便対策事業

活動目的	定期便減便、運行時間ダイヤ改正に伴い島民の利便性が失われるのを防ぐため、減便対策を行い島民、島外の人たちの生活を確保する。
実施内容	地元で渡船業を営んでいる藪田渡船を利用して高島港～外浦港間を運行します。 利用者が1時間前までに藪田渡船に利用の連絡を入れる。利用者が居ない場合は運休とする。 委託料月３０，０００円と利用者は一人２００円を藪田渡船に支払う。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動の目的・効果を地域のみんなで共有することができたか。	3
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 （活動の経費・理由・内容など）	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 （広報手段・日程調整など）	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 （男女共同参画の推進，地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど）	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	2
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	2
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	3
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	4
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	3
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について

4:よくできた　3:まあまあできた　2:あまりできなかった　1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
定期便減便、運行時間ダイヤ改正で島民の利便性が失われるのを防ぐ為、減便対策を行い島民、島外の人たちの生活を確保する。	高齢者の家族が起床時にゆったりとした時間が持てる。また、観光客、民宿等の利用者も増え島に活気が出てくる。

今後の活動の方向性・改善策

運行予定日に電話予約して運行が決定されるため、利用者が一人で運行される時もあり、「自分のためだ運行されるのは申し訳ない」といった利用控えが起きる場合がある。運行予定を利用者間で共有出来れば、乗り合い感覚で利用しやすくなり、結果として稼働率が向上すると考えられる。また、リアルタイムで情報が提供されることで、乗船忘れの防止が出来るものと考えられる。